

製品化事例

技術相談
調査研究

ソーシャルディスタンスカメラの開発支援

支援先

株式会社ヒューマンサポートテクノロジー、
アースアイズ株式会社

【開発の背景】

昨今の新型コロナウイルス感染拡大に伴いソーシャルディスタンスの確保が求められる中、支援先のアースアイズ株式会社（東京都港区）及び株式会社ヒューマンサポートテクノロジー（東海村）は、店舗や施設で人と人との距離を保ちながら、安全かつ快適に利用できるソリューションを提供するため、混雑状況をタイムリーに把握できる「ソーシャルディスタンスカメラ」の開発を行いました。

本開発においては、株式会社ヒューマンサポートテクノロジーは画像から人を認識する機能の開発を担っていましたが、その中で、当センターが提案及び指導した技術が応用されました。

【開発の支援内容】

当センターでは、画像中で認識された人物に対して、カメラ画角等の条件を考慮し、壁面から人物までの距離及び方向を推定する手法を提案しました（図1）。また、その算出方法等について技術指導を行いました。

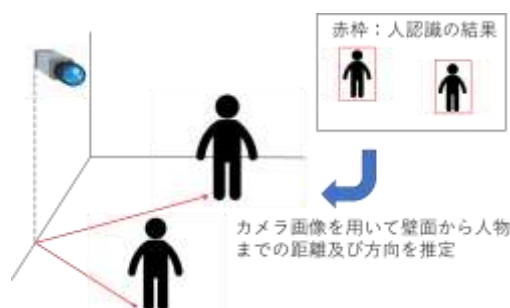


図1 開発支援内容のイメージ

【開発した製品の紹介】

株式会社ヒューマンサポートテクノロジーがソフトウェア機能の一部を受注開発した「ソーシャルディスタンスカメラ」（図2）がアースアイズ株式会社より製品化されました。

本製品は店舗及び施設向けに販売されており、施設内外の人数、人と人との距離、混雑具合を検出し、ホームページや施設責任者のスマホへ密集レベルを通知することができます。また、店舗・施設の利用者はホームページの画像などを見ることで混雑状況を把握することができるようになります。



図2 「ソーシャルディスタンスカメラ」製品概要（アースアイズ株式会社HPより抜粋）

- 構成：市販カメラを活用するローカルサーバタイプ または 専用カメラを活用したクラウドタイプ、いずれもAIクラウドへの接続を要する。
- 価格：専用カメラは1台78,000円（税抜）～、構成などによりサーバについても対応可。別途月額費用有。
- 販売：アースアイズ株式会社 TEL：03-3437-3686 HP：<https://earth-eyes.co.jp/>

基礎となった事業

令和元年度 試験研究指導費（技術相談）
令和元年度 維持運営費（調査研究）

現在の担当グループ

研究推進G グループ長 青木 邦知 TEL:029-293-7492
主 任 平間 毅